

桜町 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当等：(A組：池満)

使用教科書：(『公共』(実教出版))

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れた構築したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断の手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れた構築したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国民相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1-1-1 社会を作る私たち 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとする。	・指導事項 1. 生活における青年期の意義 2. 自己形成の課題(1) 3. 自己形成の課題(2) 4. 職業生活と社会参加 5. 伝統・文化と私たち ・教材 自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。				5
1-1-2 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	・指導事項 1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間 ・教材 自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。				4
定期考査	1学期中間考査、考査返却					2
1-1-3 他者とともに生きる 【知識及び技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	・指導事項 1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして ・教材 自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。				2
1-1-4 民主社会の倫理 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとする。	・指導事項 1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務 ・教材 自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。				2
1-1-5 民主国家における基本原理 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとする。	・指導事項 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原則 3. 民主政治のしくみ・課題 4. 世界の主な政治制度 ・教材 自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。				3
定期考査	1学期期末考査、考査返却					2

2-1-1 日本国憲法の基本的性格	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本国憲法の成立</li> <li>2. 日本国憲法の基本的性格</li> <li>3. 自由に生きる権利</li> <li>4. 平等に生きる権利</li> <li>5. 社会権と参政権・請求権</li> <li>6. 新しい人権</li> <li>7. 人権の広がりや公共の福祉</li> <li>8. 平和主義とわが国の安全</li> <li>9. 一人にちの防衛問題</li> </ol> <p>・教材</p> <p>自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	8
2-1-2 日本の政治機構と政治参加	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 政治機構と国会</li> <li>2. 行政権と行政機能の拡大</li> <li>3. 公正な裁判の保障</li> <li>4. 地方自治と住民福祉</li> <li>5. 政党政治</li> <li>6. 選挙制度</li> </ol> <p>・教材</p> <p>自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	6
定期考査	2学期中間考査、考査返却			○	○			2
2-2-1 現代の経済社会	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済主体と経済活動の意義</li> <li>2. 経済社会の変容</li> <li>3. 市場のしくみ</li> <li>4. 市場の失敗</li> <li>5. 現代の企業</li> <li>6. 国民所得</li> <li>7. 経済成長と国民の福祉</li> <li>8. 金融の役割</li> <li>9. 国民福祉の向上</li> <li>10. 財政の役割と租税</li> <li>11. 日本の財政の課題</li> </ol> <p>・教材</p> <p>自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	9
2-2-2 日本経済の特質と国民生活	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戦後日本経済の成長と課題</li> <li>2. 転機に立つ日本経済</li> <li>3. 経済社会の変化と中小企業</li> <li>4. 農業と食料問題</li> <li>5. 消費者問題</li> <li>6. 公害の防止と環境保護</li> <li>7. 労働問題と労働者の権利</li> <li>8. 今日の労働問題</li> <li>9. 社会保障の役割</li> <li>10. 社会保障制度の課題</li> </ol> <p>・教材</p> <p>自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	9
定期考査	2学期期末考査、考査返却			○	○			2

2学期

<p>2-3-1 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものである主権国家の行動を規定し国際法の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・自立した主体として解決求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 国際社会と国際法</li> <li>2. 国際連合と国際協力</li> <li>3. こんにちの国際政治</li> <li>4. 人種・民族問題</li> <li>5. 建政競争から軍縮へ</li> <li>6. 国際平和と日本の役割</li> </ul> <p>・教材</p> <p>自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものである主権国家の行動を規定し国際法の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・自立した主体として解決求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
<p>2-3-2 国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えること、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されない状況やこれらの解決が地球規模の課題であることについて理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・自立した主体として解決求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 貿易と国際収支</li> <li>2. 外国為替市場のしくみ</li> <li>3. 第二次世界大戦後の国際経済</li> <li>4. 地域的経済統合の進展</li> <li>5. 国際経済のつながりと課題</li> <li>6. 発展途上国の諸課題と日本の役割</li> </ul> <p>・教材</p> <p>自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えること、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されない状況やこれらの解決が地球規模の課題であることについて理解している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・自立した主体として解決求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>3-1-1 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技能を活用する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現実社会の諸課題を探究する。</li> </ul> <p>・教材</p> <p>自校作成プリント、ICT機器、コンテンツ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技能を活用している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>	<p>学年末考査、考査返却</p>		○	○		1
合計						
70						

3  
学期

校 長 岡 本 隆 高 等 学 校 令 和 5 年 度 ( 1 学 年 用 ) 教 科 地 理 歴 史 科 目 地 理 総 合

教 科 : 地 理 歴 史 科 目 : 地 理 総 合 単 位 数 : 2 単 位

対 象 学 年 組 : 第 2 学 年 A 組

教 科 担 当 者 : ( A 組 : 池 満 )

使 用 教 科 書 : ( 『 高 校 生 の 地 理 総 合 』 ( 帝 国 書 院 ) , 『 標 準 高 等 地 図 』 ( 帝 国 書 院 ) )

教 科 地 理 歴 史 の 目 標 :

- 【 知 識 及 び 技 能 】 ・ 現 代 世 界 の 地 域 的 特 色 と 日 本 及 び 世 界 の 歴 史 の 展 開 に 関 して 理 解 する と 同 じ に , 調 査 や 諸 資 料 か ら 様 々 な 情 報 を 適 切 かつ 効 果 的 に 調 べ ま と め る 技 能 を 身 に 付 け る よ う に す る 。
- ・ 地 理 や 歴 史 に 関 わ る 事 象 の 意 味 や 意 義 , 特 色 や 相 互 の 関 連 を , 概 念 な ど を 活 用 し て 多 面 的 ・ 多 角 的 に 説 明 し たり , そ れ ら を 基 に 議 論 し たり す る 力 を 養 っ ち ぬ 。
- ・ 地 理 や 歴 史 に 関 わ る 諸 事 象 に つ い て , よ り よ い 社 会 の 実 現 を 視 野 に そ こ で 見 ら れ る 課 題 を 主 体 的 に 追 究 , 解 決 し よ う と す る 意 志 を 養 っ ち ぬ と 同 じ に , 多 面 的 ・ 多 角 的 な 考 察 や 深 い 理 解 を 通 じ て 高 貴 さ れ る 日 本 國 民 と し て の 自 覚 , 我 が 國 の 国 土 や 歴 史 に 対 す る 愛 情 , 他 國 や 他 國 の 文 化 を 尊 重 す る こ と の 大 切 さ に つ い て の 自 覚 な ど を 深 め る 。
- 【 思 考 力 , 判 断 力 , 表 現 力 等 】 考 察 し たり , 社 会 に 見 ら れ る 課 題 の 解 決 に 向 け て 構 想 し たり す る 力 や , 考 察 , 構 想 し た こ と を 効 果 的 に 説 明 し たり , そ れ ら を 基 に 議 論 し たり す る 力 を 養 っ ち ぬ 。
- ・ 地 理 や 歴 史 に 関 わ る 諸 事 象 に つ い て , よ り よ い 社 会 の 実 現 を 視 野 に 課 題 を 主 体 的 に 解 決 し よ う と す る 意 志 を 養 っ ち ぬ と 同 じ に , 多 面 的 ・ 多 角 的 な 考 察 や 深 い 理 解 を 通 じ て 高 貴 さ れ る 日 本 國 民 と し て の 自 覚 , 我 が 國 の 国 土 や 歴 史 に 対 す る 愛 情 , 他 國 や 他 國 の 文 化 を 尊 重 す る こ と の 大 切 さ に つ い て の 自 覚 な ど を 深 め る 。
- 【 学 び に 向 か う 力 , 人 間 性 等 】 各 科 目 の 学 習 方 法 に つ い て , 主 体 的 に 追 究 し , 課 題 を 見 出 だ し たい 。

科 目 地 理 総 合 の 目 標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 地 理 に 関 わ る 諸 事 象 に 関 し て , 世 界 の 生 活 文 化 の 多 様 性 や , 防 災 , 地 域 や 地 球 的 課 題 へ の 取 組 な ど を 理 解 す る と 同 じ に , 地 図 や 地 理 情 報 シ ス テ ム な ど を 用 い て , 調 査 や 諸 資 料 か ら 地 理 に 関 す る 様 々 な 情 報 を 適 切 かつ 効 果 的 に 調 べ ま と め る 技 能 を 身 に 付 け る よ う に す る 。	・ 地 理 に 関 わ る 事 象 の 意 味 や 意 義 , 特 色 や 相 互 の 関 連 を , 位 置 や 分 布 , 場 所 , 人 間 と 自 然 環 境 と の 相 互 依 存 関 係 , 空 間 的 相 互 依 存 作 用 , 地 域 な ど に 着 目 し て , 概 念 な ど を 活 用 し て 多 面 的 ・ 多 角 的 に 考 察 し たり , 地 理 的 な 課 題 の 解 決 に 向 け て 構 想 し たり す る 力 や , 考 察 , 構 想 し た こ と を 効 果 的 に 説 明 し たり , そ れ ら を 基 に 議 論 し たり す る 力 を 養 っ ち ぬ 。	・ 地 理 に 関 わ る 諸 事 象 に つ い て , よ り よ い 社 会 の 実 現 を 視 野 に そ こ で 見 ら れ る 課 題 を 主 体 的 に 追 究 , 解 決 し よ う と す る 意 志 を 養 っ ち ぬ と 同 じ に , 多 面 的 ・ 多 角 的 な 考 察 や 深 い 理 解 を 通 じ て 高 貴 さ れ る 日 本 國 民 と し て の 自 覚 , 我 が 國 の 国 土 対 する 愛 情 , 世 界 の 諸 地 域 の 多 様 な 生 活 文 化 を 尊 重 し よ う と す る こ と の 大 切 さ に つ い て の 自 覚 な ど を 深 め る 。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 ・ 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 ・ 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・ 指導事項 1部 地球儀と地図 1 地球上の位置と地上の現象 2 経度の違いと時差 3 球体と平面の世界 2部 地図や地理情報システム 1 地図の種類 2 地理情報システムの利用 ・ 教材 自校作成プリント、ICT機器、コンデンツ ・ 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 ・ 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	4
2章 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 ・ 世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。 ・ 国家の領域や世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだす。	・ 指導事項 1部 現代世界の国家と領域 1 国家の領域と国境 2 地図から見る日本の位置と領域 2部 地図から見る国内や国際間の結びつき 1 グローバル化と多様な結びつき 2 拡大する貿易 3 世界を結ぶ交通・通信 ・ 教材 自校作成プリント、ICT機器、コンデンツ ・ 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・ 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【思考・判断・表現】 ・ 国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2
2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 ・ 世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 ・ 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	・ 指導事項 序説 生活文化の多様性 1 生活文化を考察する視点 1部 世界の地形と人々の生活 1 生活と地形の関わり 2 河川がつくる地形と人々の生活 3 海岸の地形と人々の生活 4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 2部 世界の気候と人々の生活 1 生活と気候の関わり 2 熱帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 3部 世界の産業と人々の生活 1 生活を支える農業の発展 2 生活を支える工業の発展 4部 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 1 宗教・民族・言語の多様性 2 多様な生活文化と地理的環境 1 国際理解を深めるために 2 世界からみた日本の生活文化 ・ 教材 自校作成プリント、ICT機器、コンデンツ ・ 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ 世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 ・ 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ 地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	14
定期考査	1学期期末考査、考査返却		○	○		2

